









Cisco Unified IP Conference Station 7937G 電話ガイド for Cisco Unified Communications Manager 6.0

ライセンスおよび保証規定を含む

共通の電話タスク

コールの発信	番号をダイヤルする前またはダイヤルした後に、  を押しします。
コールへの応答	 を押すか、 [応答] ソフトキーを押します。
コールの終了	 を押すか、 [終了] ソフトキーを押します。
番号のリダイヤル	 を押すか、 [リダイヤル] ソフトキーを押します。
電話のミュート (消音)	 を押しします。
通話履歴の使用	 を押して通話履歴を選択し、その後、表示するリストを選択します。ダイヤルするには、リストを強調表示して [ダイヤル] を押しします。
コールの保留 / 復帰	コールを保留するには、 [保留] ソフトキーを押します。また、コールを復帰するには、 [復帰] ソフトキーを押します。
新しい番号へのコールの転送	[転送] ソフトキーを押して、番号を入力してから、 [転送] を押しします。
標準 (アドホック) 会議コールの開始	[会議] ソフトキーを押し、参加者の番号をダイヤルして、再度、 [会議] を押しします。
すべてのコールの転送	[不在] ソフトキーを押します。



Cisco, Cisco Systems, the Cisco logo, and the Cisco Systems logo are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries. All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

Copyright © 2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-14708-01-J



クイック リファレンス



Cisco Unified IP Conference Station 7937G for Cisco Unified Communications Manager 6.0

ソフトキーの定義

電話機の画面のアイコン

ボタン アイコン

共通の電話タスク






ソフトキーの定義

短縮	短縮ダイヤル番号を使用してダイヤルします。
応答	呼び出し中のコールに応答します。
<<	入力した文字を削除します。
割り込み	共有回線上のコールに自分自身を追加します。
折返し	話し中の回線が対応可能になったときに通知を受け取ります。
C 割り込	共有回線上のコールに自分自身を追加し、会議を開催します。
不在	コール転送を設定 / キャンセルします。
クリア	レコードまたは設定を削除します。
参加者	会議参加者を表示します。
会議	会議コールを開始します。
詳細	発信履歴、着信履歴、または不在履歴のすべてに関する情報を受け取ります。
ダイヤル	電話番号をダイヤルします。
D 転送	2 つのコールを結合します。
ダウン	ディスプレイ画面のコントラスト設定値を小さくします。
編集	通話履歴内の番号を編集します。
終了	現在のコールを切断します。
終了	前の画面に戻ります。
G ピック	別のグループ内で呼び出し中のコールに応答します。
保留	アクティブなコールを保留します。
即転送	コールをボイス メッセージ システムに送信またはリダイレクトします。
参加	すでに回線上にある他のコールに参加し、会議を開催します。
ミーティング	ミーティング会議を開催します。
メッセージ	ボイス メッセージを設定、確認、または再生します。
次へ	追加のソフトキーを表示します。
発信	新しいコールを発信します。
オフ	ディスプレイ画面のバックライトをオフにします。

オン	ディスプレイ画面のバックライトをオンにします。
パーク	コールをパークし表示します。
ピック	グループ内で呼び出し中のコールに応答します。
再生	選択した呼出音タイプを再生します。
リダイヤル	最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
復帰	保留中のコールを復帰させます。
保存	選択した設定値を保存します。
選択	メニュー項目またはコールを選択します。
送信	パーソナル ディレクトリへのアクセス用に入力したログインIDとPINを確認します。
転送	コールを転送します。
アップ	ディスプレイ画面のコントラスト設定値を大きくします。
更新	ディスプレイ画面の内容を更新します。
確認	セキュリティの設定時に入力したユーザ名とパスワードを確認します。
ボイスメール	ボイスメールの内容を確認します。

電話機の画面のアイコン





回線とコールの状態

	保留中のコール
	接続コール
	着信コール
	オフフック
	使用中の共有回線

その他の機能

	オンのチェックボックス
	ロック済み
	メッセージ受信中
	設定
	オフのチェックボックス
	ロック解除

ボタン アイコン

	オフフック
	オンフック
	ナビゲーション
	選択
	アプリケーション
	ディレクトリ
	リダイヤル
	音量アップ
	音量ダウン
	ミュート
	ソフトキー

Contents

はじめに	1
このガイドの使用方法	1
その他の情報	2
安全および使用に関する情報	3
シスコ製品のセキュリティの概要	4
アクセシビリティ機能	4
会議ステーションの接続	5
会議ステーションのネットワークへの接続	5
TAPS (内線番号自動登録システム) への登録	8
会議ステーションの概要	9
ボタンおよびハードウェアについて	10
回線とコールについて	13
回線アイコンとコールアイコンについて	13
ディスプレイ画面の機能について	14
メニュー項目の選択	15
ディスプレイ画面のクリーニングと保守	15
機能ボタンおよび機能メニューについて	16
機能のアクセシビリティについて	16
基本的なコール処理	17
コールの発信：基本的なオプション	17

コールの発信：その他のオプション	18
コールへの応答	20
コールの終了	20
保留と復帰の使用方法	21
ミュートの使用方法	21
複数のコール間での切り替え	22
複数のコールの表示	22
コールの転送	23
別の電話番号へのすべてのコールの転送	24
会議コールの開始	25
会議コールの種類について	25
標準会議の開始と参加	25
ミーティング会議コールの開始または参加	27
応用的なコール処理	28
短縮ダイヤル	28
会議ステーションでのリダイレクトされたコールのピックアップ	30
パークされたコールの保持と取得	31
共有回線の使用方法	32
共有回線について	32
共有回線コールへの参加	33
他の通話者による共有回線コールの表示または割込みの禁止	34
不審なコールのトレース	34
Cisco エクステンション モビリティの使用方法	35
自動応答の使用方法	35
会議ステーションの設定の変更	36
呼出音とメッセージ インジケータのカスタマイズ	36
会議ステーションのディスプレイ画面のカスタマイズ	37

通話履歴およびディレクトリの使用方法	38
通話履歴の使用方法	38
ディレクトリ ダイアル	39
会議ステーションでの社内ディレクトリの使用方法	39
会議ステーションでのパーソナル ディレクトリの使用方法	41
ボイス メッセージへのアクセス	44
ユーザ オプション Web ページの使用方法	45
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	45
Web での機能およびサービスの設定	46
Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法	46
Web での個人アドレス帳の使用方法	46
Web でのファースト ダイアルの設定	47
アドレス帳同期ツールの使用方法	48
Web での短縮ダイアルの設定	49
Web での会議ステーション サービスの設定	50
Web でのユーザ設定の制御	51
Web での回線設定の制御	52
Cisco WebDialer の使用方法	55
その他の設定オプションについて	57
会議ステーションのトラブルシューティング	59
一般的なトラブルシューティング	59
会議ステーションの管理データの表示	61
品質レポート ツール (QRT) の使用方法	61
シスコ製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の限定保証規定	62
索引	

はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、Cisco Unified IP Conference Station 7937G で使用可能な機能の概要を説明します。すべてを読めば、会議ステーションについてさらに理解を深めることができます。また、一般によく使用される機能についてのみ知りたい場合には、次の表に示す該当する項を参照してください。

対象とする操作	参照先
安全上の情報を確認する	P.3 の「安全および使用に関する情報」を参照してください。
会議ステーションに接続する	P.5 の「会議ステーションの接続」を参照してください。
会議ステーションのインストール後に、それを使用する	最初に、P.9 の「会議ステーションの概要」を参照してください。
会議ステーションのボタンメニューについて学習する	P.10 の「ボタンおよびハードウェアについて」を参照してください。
ディスプレイ画面について学習する	P.14 の「ディスプレイ画面の機能について」を参照してください。
コールを発信する	P.17 の「コールの発信：基本的なオプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.21 の「保留と復帰の使用法」を参照してください。
コールをミュート（消音）する	P.21 の「ミュートの使用法」を参照してください。
コールを転送する	P.23 の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを開始する	P.25 の「会議コールの開始」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.28 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
電話番号を共有する	P.32 の「共有回線の使用法」を参照してください。
呼出音の音量またはタイプを変更する	P.36 の「呼出音とメッセージインジケータのカスタマイズ」を参照してください。
ボイスメッセージインジケータを変更する	P.36 の「呼出音とメッセージインジケータのカスタマイズ」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.38 の「通話履歴の使用法」を参照してください。
ボイスメッセージを再生する	P.44 の「ボイスメッセージへのアクセス」を参照してください。
ソフトキーおよびアイコンの定義を確認する	このガイドの表紙の次にあるクイックリファレンスカードを参照してください。

その他の情報

WWW 上の次の URL から、会議ステーションの最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

安全および使用に関する情報

電源停止の影響および会議ステーションの他のデバイスに関する情報については、次の項を参照してください。

電源停止

電話による緊急サービスへのアクセシビリティは、電話機に電力が供給されているかどうかによって異なります。電源に障害が生じている場合は、電力が復旧するまで、サービスダイヤルおよび緊急コールサービスダイヤルは機能しません。電力の障害または切断の発生時には、サービスダイヤルまたは緊急コールサービスダイヤルを使用する前に、デバイスをリセットまたは設定し直す必要がある場合があります。

外部デバイスの使用方法

次の情報は、会議ステーションで外部デバイスを使用する場合に当てはまります。

シスコは、不要な無線周波数 (RF) および聴覚周波数 (AF) 信号を遮蔽する高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用をお勧めしています。

これらのデバイスの品質と、携帯電話や双方向無線など他のデバイスとの距離によっては、音声周波数の雑音がなくなることがあります。この場合は、次のアクションのいずれかまたは複数をとることを推奨します。

- 外部デバイスを RF 信号または AF 信号の発生源から遠ざける。
- 外部デバイスのケーブルを RF 信号または AF 信号の発生源から遠ざけるようにルーティングする。
- 外部デバイスに遮蔽ケーブルを使用するか、より効果が高い遮蔽とコネクタ付きのケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルの長さを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトなどの素子を付加する。

シスコは外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質をコントロールできないため、システムのパフォーマンスを保証できません。適切なデバイスを高品質のケーブルとコネクタで接続した場合に、適切なシステムパフォーマンスが得られます。



注意

EU 加盟国では、EMC 指令 [89/336/EC] に完全準拠している外部スピーカおよびマイクロフォンだけを使用してください。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

シスコの暗号化製品に適用される米国の法律の概要については、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/wwl/export/crypto/tool/stqrg.html> 何かご不明な点があれば、export@cisco.com まで電子メールを送信してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストは、申し込みにより入手可能です。

会議ステーションの接続

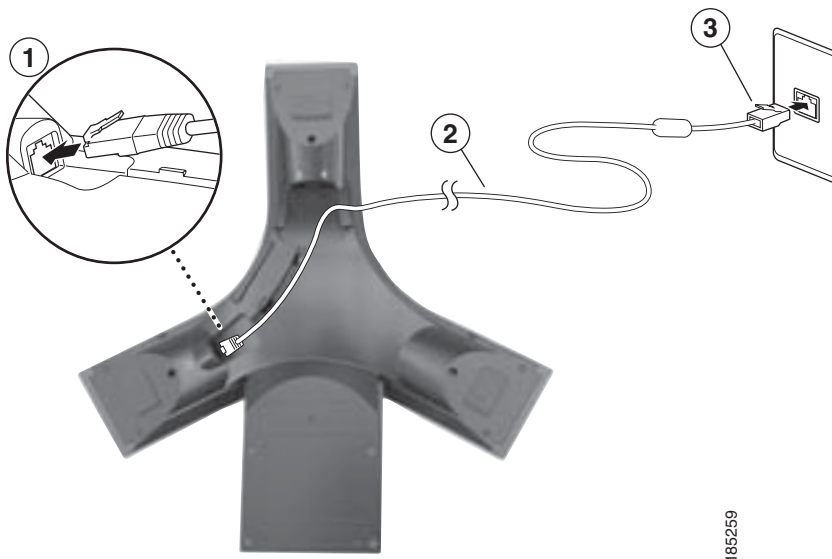
システム管理者は、通常、新しい Cisco Unified IP Conference Station 7937G を社内 IP テレフォニー ネットワークに接続します。これに該当しない場合は、次の図と表を参照して、会議ステーションを接続してください。

会議ステーションのネットワークへの接続

次の図と表は、会議ステーションをネットワークに接続する方法を示しています。



(注) 複数の会議ステーションを接続する構成はサポートされておらず、動作しません。

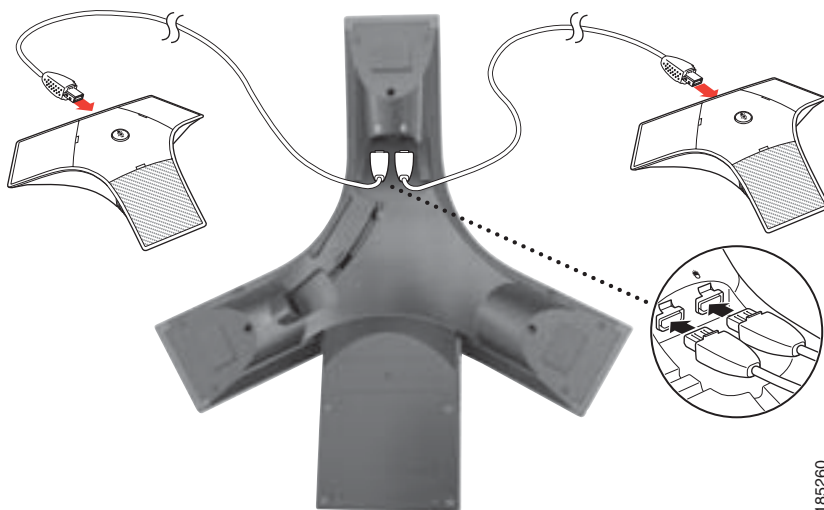


185259

1	ネットワーク ケーブル (フェライト ビーズなし) の端と会議ステーション底面の RJ-45 ポートとの接続
2	ネットワーク ケーブル (25 フィート)
3	ネットワーク ケーブル (フェライト ビーズ付き) の端と LAN ポートとの接続

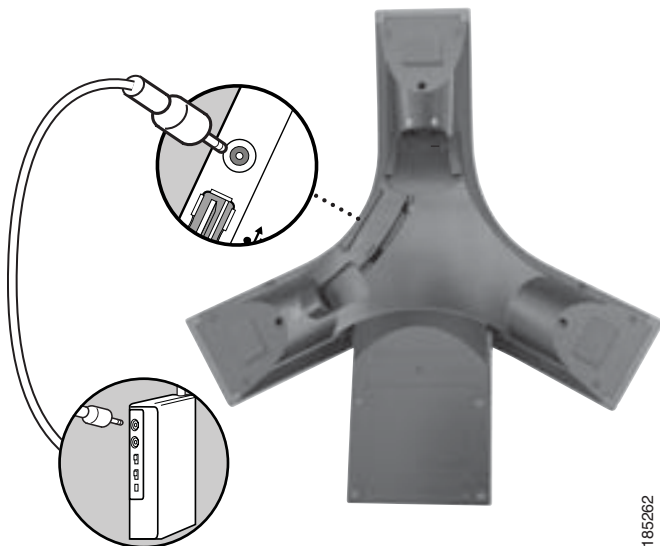
オプションの外部マイクロフォンの接続

オプションの外部マイクロフォンを接続できます。次の図を参照してください。



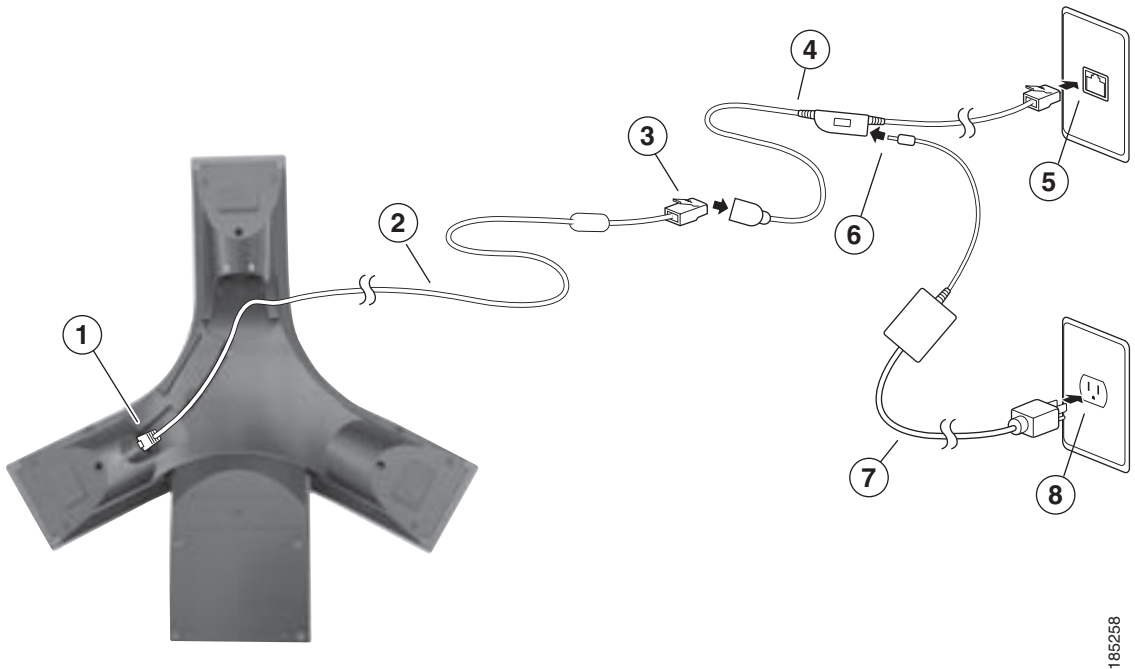
オプションのモバイル会議ステーション デバイスの接続

オプションの外部モバイル会議ステーション デバイスを接続できます。次の図を参照してください。



オプションの外部電源を使用した会議ステーションの接続

外部電源を使用して会議ステーションをネットワークに接続する場合は、電源インターフェイス ケーブルと外部電源を使用する必要があります。以下のアイテムはオプションで、会議ステーションのパッケージには同梱されていません。次の図と表は、外部電源を使用する場合に会議ステーションをネットワークに接続する方法を示しています。外部電源の使用の詳細については、システム管理者に問い合せてください。



185258

1	ネットワーク ケーブル (フェライト ビーズなし) の端と会議ステーションの RJ-45 ポートとの接続
2	ネットワーク ケーブル (25 フィート)
3	ネットワーク ケーブル (フェライト ビーズ付き) の端と電源インターフェイス ケーブルとの接続
4	電源インターフェイス ケーブル
5	電源インターフェイス ケーブルと壁面 LAN ポートとの接続
6	電源インターフェイス ケーブルと外部電源との接続
7	外部電源
8	外部電源の壁面コンセントへの接続

TAPS（内線番号自動登録システム）への登録

会議ステーションをネットワークに接続した後、システム管理者から、Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して会議ステーションを自動登録するように要求される場合があります。TAPS は、新たに会議ステーションを接続した場合、または既存の会議ステーションを交換した場合に使用できます。TAPS に登録するには、会議ステーションをアクティブにし、システム管理者によって提示された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力する必要がある場合があります。会議ステーションに確認メッセージが表示されたら、電話を切ります。会議ステーションが再起動します。

会議ステーションの概要

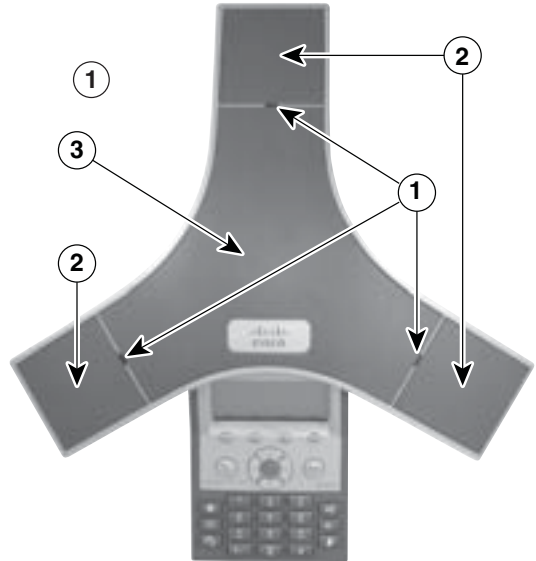
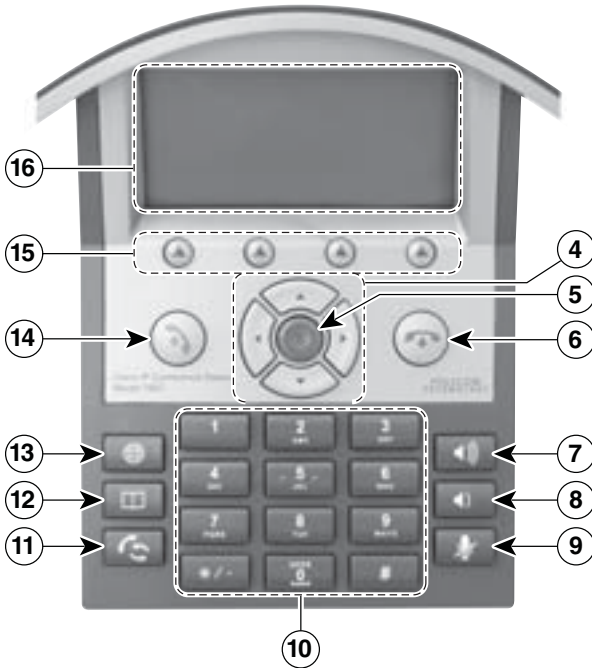
Cisco Unified IP Conference Station 7937G は、コンピュータが使用するものと同じデータ ネットワークを使用して音声によるコミュニケーションを行える、高機能な会議ステーションです。コールの発信および受信、コールの保留、コールの転送、会議コールの開始などを行えます。

会議ステーションは、基本的なコール処理機能に加え、コール処理機能を強化する生産性向上機能も備えています。会議ステーションは、構成に応じて次の機能をサポートします。

- ネットワーク データ、XML アプリケーション、および Web ベースのサービスにアクセスする
- ユーザ オプション Web ページから、会議ステーションの機能およびサービスをオンラインでカスタマイズする

ボタンおよびハードウェアについて




次の図と表を参照して、会議ステーションのボタンおよびハードウェアを特定できます。



185261

項目	説明	詳細情報の参照先
1 LED インジケータ	<p>3つのマルチカラーLEDインジケータが、コールステータス情報を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消灯：待機状態、コール状態オフ オレンジの点灯：電源投入 赤色の点灯：電源投入、ミュート、またはボイスメッセージ 赤色の点滅：保留 緑色の点灯：ダイヤルトーン、ダイヤル中、または接続 緑色の点滅：着信コール（呼び出し中 / 接続中）または受信 	『Cisco Unified IP Conference Station 7937G Administration Guide for Cisco Unified Communications Manager 6.0』
2 マイクロフォン	3つの内蔵単一指向性マイクロフォン。	システム管理者
3 スピーカ	内蔵スピーカ。	システム管理者

	項目	説明	詳細情報の参照先
4	ナビゲーション ボタン (4 個) 	メニューをスクロールして項目を強調表示できます。	通話履歴の使用法 (P.38)
5	選択ボタン 	現在強調表示されている画面上のメニュー オプションをアクティブにします。	メニュー項目の選択 (P.15)
6	オンフック ボタン 	現在のコールを終了します。	コールの発信：基本的なオプション (P.17) コールの終了 (P.20) コールの転送 (P.23)
7	音量アップ ボタン 	スピーカ (オフフック) および呼出音 (オンフック) の音量を上げます。	呼出音とメッセージ インジケータのカスタマイズ (P.36)
8	音量ダウン ボタン 	スピーカ (オフフック) および呼出音 (オンフック) の音量を下げます。	呼出音とメッセージ インジケータのカスタマイズ (P.36)
9	ミュート ボタン 	ミュート機能のオン / オフを切り替えます。	ミュートの使用法 (P.21)
10	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択を実行できます。	基本的なコール処理 (P.17)
11	リダイヤル ボタン 	最後にかけた番号をダイヤルします。	コールの発信：基本的なオプション (P.17)
12	ディレクトリ ボタン 	ディレクトリ メニューに切り替えます。通話履歴、短縮ダイヤル、およびディレクトリにアクセスできます。	通話履歴およびディレクトリの使用法 (P.38) 応用的なコール処理 (P.28)

	項目	説明	詳細情報の参照先
13	アプリケーション ボタン 	アプリケーション メニューに切り替えま す。[メッセージ][設定] および[サー ビス]メニューにアクセスできます。	ボイス メッセージへのアク セス (P.44) 会議ステーションの設定の 変更 (P.36) Web での会議ステーション サービスの設定 (P.50)
14	オフフック ボタン 	オフフックにして、次のことを実行できま す。 <ul style="list-style-type: none"> • ダイヤル トーンの呼び出し • ダイヤル トーンを取得してコールを 開始する • 電話番号の入力後にコールを開始す る • 着信コールに応答する • 特定のソフトキーを表示する 	コールの発信：基本的なオブ ション (P.17) ミートミー会議コールの開 始または参加 (P.27) 会議ステーションでのリダ イレクトされたコールの ピックアップ (P.30)
15	ソフトキー ボタン (4 個) 	画面に表示するソフトキー オプションを 選択できます。	ディスプレイ画面の機能に ついて (P.14)
16	会議ステーション画 面	会議ステーションのメニューと機能を表 示します。	ディスプレイ画面の機能に ついて (P.14)







回線とコールについて

回線とコールの混同を避けるため、次の説明を参照してください。

- 回線：回線は、対象とする相手に電話をかけるために使用できる電話番号に相当します。会議ステーションごとに1つの回線のみをサポートします。会議ステーションの回線は、ディスプレイ画面の右上に表示されています。
- コール：1つの回線は複数のコールをサポートします。デフォルトでは、会議ステーションは回線あたり4つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はニーズに応じてサポート数を調整できます。一度にアクティブにできるのは1つのコールだけです。他のコールは自動的に保留になります。

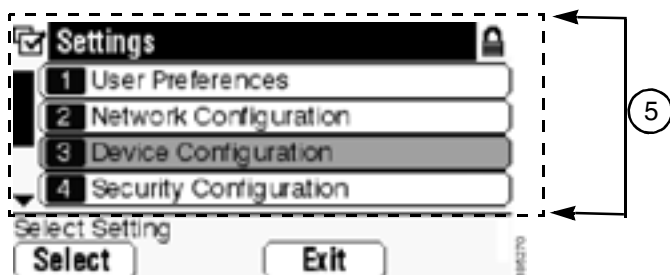
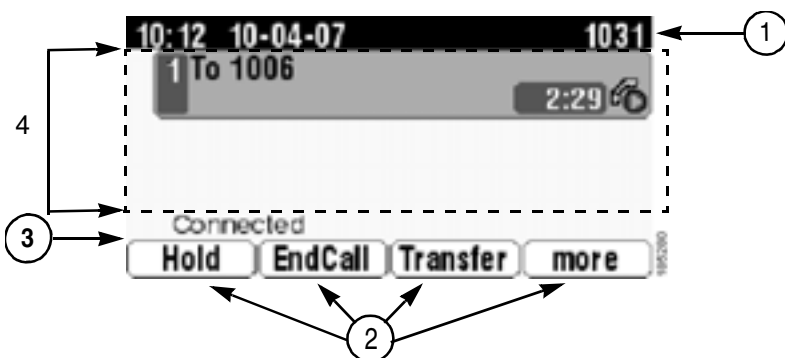
回線アイコンとコールアイコンについて

会議ステーションには、回線コール状態を判断するために役立つアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線にはコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	番号のダイヤル中、または発信コールの呼び出し中です。
	接続コール	現在、相手先に接続されています。
	呼び出し中のコール	回線上で着信コールが呼び出し中です。
	保留中のコール	コールは保留になっています。P.21 の「保留と復帰の使用方法」を参照してください。
	リモートで使用中	回線を共有する別の電話機に接続コールがあります。P.32 の「共有回線の使用方法」を参照してください。

ディスプレイ画面の機能について

次の図と表を参照して、会議ステーションのディスプレイ画面でのアクティブ コールの表示や開いた状態の機能メニューの概観を把握できます。



項目	説明
1	会議ステーションの電話番号
2	ソフトキー ラベル
3	ステータス行
4	コールアクティビティエリア
5	機能メニュー

メニュー項目の選択

会議ステーションのディスプレイ画面でのメニュー項目の選択方法は3通りあります。

ディスプレイ画面の項目の 選択方法	操作
ソフトキーを使用	[選択] ソフトキーを押します。
ナビゲート (スクロール) する	該当するナビゲーション ボタンを押し、対象のメニュー項目を強調表示してから、[選択] ボタンまたは[選択] ソフトキーを押します。
項目番号を使用	キーボードで該当する番号を押します。たとえば、メニューの4番目の項目を選択するには、4を押します。

ディスプレイ画面のクリーニングと保守





注意

会議ステーションのディスプレイ画面を拭くときは、必ず、柔らかく乾いた布を使用してください。電話機に液体やパウダーは使用しないでください。電話機の部品が痛み、障害を引き起こす場合があります。

機能ボタンおよび機能メニューについて

機能メニューを開閉するには、機能ボタンを押します。

目的	操作
メニューの開閉	機能ボタンを押します。  [アプリケーション]([メッセージ] [設定] および[サービス])  [ディレクトリ]([不在履歴] [発信履歴] [着信履歴] [短縮ダイヤル]、[パーソナルディレクトリ]、[社内ディレクトリ])
リストまたはメニューのスクロール	上方向または下方向のナビゲーション ボタンを押します。
機能メニュー内で1レベル戻る	[終了]を押します。メニューのトップレベルで[終了]を押すと、メニューが閉じます。

機能の Availability について





会議ステーションのシステム設定によっては、このガイドに記載された機能が使用できない場合や、会議ステーション上での動作が異なる場合があります。操作方法や機能の Availability については、サポートデスクまたはシステム管理者に問い合わせてください。

基本的なコール処理

さまざまな機能とサービスを使用して、基本コール処理タスクを実行できます。機能が使用できるかどうかはシステム設定によって異なります。詳細については、システム管理者に確認してください。

コールの発信：基本的なオプション

次に、会議ステーションでコールを発信する簡単な方法を数通り示します。



目的	操作	詳細情報の参照先
コールをオフフックにする (ダイヤルトーンを聞く)	 を押してオフフックにしてから、番号を入力します。	ボタンおよびハードウェアについて (P.10)
コールをオンフックにする (ダイヤルトーンなし)、または番号を先にダイヤルする	番号を入力してから、 [ダイヤル] または  を押してオフフックにします。	ボタンおよびハードウェアについて (P.10)
番号をリダイヤルする	 を押して、最後にかけた番号をダイヤルします。 または、下方向のナビゲーション ボタンを押して (会議ステーションはアイドル状態) 必要な電話番号を強調表示し、 [ダイヤル] を押します。	通話履歴の使用方法 (P.38)
別のコールがアクティブ中に コールを発信する	1. [保留] を押します。 2. [発信] を押します。 3. 番号を入力します。	保留と復帰の使用方法 (P.21)
通話履歴からダイヤルする	1.  > [不在履歴] 、 [発信履歴] 、または [着信履歴] を選択します。 2. 通話履歴から必要なリストを選択し、 [ダイヤル] を押します。	通話履歴の使用方法 (P.38)


ヒント

- ダイヤル中に間違えた場合は、<< を押すと番号を消去できます。

コールの発信：その他のオプション

使用可能な場合には、会議ステーションで特殊な機能とサービスを使用してコールを発信できます。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者に確認してください。

目的	操作	詳細情報の参照先
短縮ダイヤルを使用する	次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> > [短縮ダイヤル] を選択します。固定短縮ダイヤル機能を使用します。ファーストダイヤル機能を使用します。	短縮ダイヤル (P.28)
会議ステーションの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> > [社内ディレクトリ] (名前は異なる場合がある) を選択します。名前を入力し、[検索] を押します。リストを強調表示し、[ダイヤル] を押します。	会議ステーションでの社内ディレクトリの使用方法 (P.39)
Cisco WebDialer を使用してパーソナルコンピュータ上の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">Web ブラウザを開き、WebDialer 対応の社内ディレクトリに移動します。ダイヤルする番号をクリックします。	Cisco WebDialer の使用方法 (P.55)
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼び出し中の回線が対応可能になったときに通知を受け取る	<ol style="list-style-type: none">ビジー トーンまたは呼出音が聞こえている間に、[折返し] を押します。いったん電話を切ります。回線が使用可能になると、会議ステーションにより通知されます。再度、コールを発信します。	システム管理者

目的	操作	詳細情報の参照先
Personal Address Book(PAB; 個人アドレス帳) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="485 193 952 347">  > [パーソナルディレクトリ] を選択し、 パーソナルディレクトリのログインID と PIN でログインします。 <li data-bbox="485 363 952 420"> [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。 	会議ステーションでのパーソナルディレクトリ の使用方法 (P.41)
Cisco Extension Mobility プロファイルを使用してコールを発信する	会議ステーションで Cisco エクステンション モビリティにログインします。	Cisco エクステンション モビリティの使用方法 (P.35)


コールへの応答

[オフフック] ボタンを押すだけでコールに応答できます。また、会議ステーションで使用可能な場合は、その他のオプションを使用してコールに応答することもできます。

目的	操作	詳細情報の参照先
接続コールから切り替えて、新しいコールに応答する	[応答] を押します。	保留と復帰の使用方法 (P.21)
保留中のコールに応答する	該当するコールを強調表示して、[復帰] を押します。	保留と復帰の使用方法 (P.21)
コールをボイス メッセージ システムへ送信する	[即転送] を押します。	ボイス メッセージ へのアクセス (P.44)
コールを自動接続する	自動応答を使用します。	自動応答の使用方法 (P.35)
別の会議ステーションがパークしたコールを取得する	コール パークを使用します。	パークされたコールの保持と取得 (P.31)
別の電話機を呼び出し中のコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	会議ステーションでのリダイレクトされたコールのピックアップ (P.30)

コールの終了

コールの終了方法は 2 通りあります。


目的	操作
現在のコールを切る	 または [終了] を押します。
1 つのコールは切るが、別のコールは同じ回線で保持する	[終了] を押します。必要に応じて、最初に保留されたコールを解除します。

保留と復帰の使用方法

コールを保留し、復帰することができます。



目的	操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保留にするコールが強調表示されていることを確認します。 2. [保留] を押します。
コールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。 2. [復帰] を押します。

ヒント

- 保留機能を使用している間、通常は、音楽やビープ音が流れます。
- 保留されたコールには、[保留] アイコン  が示されます。

ミュートの使用方法

ミュートを有効にすると、自分にはコールの相手の声が聞こえますが、相手には自分の声は聞こえません。ミュート機能は、会議ステーションまたは外部マイクロフォンのいずれかと組み合わせて使用できます。

目的	操作
ミュートをオンにする	 を押します。
ミュートをオフにする	 を押します。

複数のコール間での切り替え

1つの回線上の複数のコール間を切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、該当するナビゲーション ボタンを使用して、そのコールまでスクロールします。

目的	操作
1つの回線上の接続コール間を切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. 切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。2. [復帰] を押します。 アクティブなコールは保留になり、選択したコールが復帰します。
接続コールから切り替えて、呼び出し中のコールに応答する	[応答] を押します。アクティブなコールは保留になり、選択したコールが復帰します。

複数のコールの表示



複数のコールが会議ステーションでどのように表示されるかを理解しておく、コール処理に関する作業を体系化する上で役立ちます。

標準表示モードでは、会議ステーションは次のようにコールを表示し、行を強調表示します。

- 優先順位が最高で通話時間の最も長いコールが、リストの最上位に表示されます。
- 類似のタイプのコールはまとめてグループ化されます。たとえば、通話したコールはグループ化されて最上位近くに表示され、保留中のコールはまとめて最後に表示されます。

コールの転送

転送機能は、接続コールをリダイレクトします。転送先は、コールの転送先の番号です。

目的	操作
転送先の受信者と話をせずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブ コールで、[転送]を押します。 2. 転送先の電話番号を入力します。 3. [転送]をもう一度押して、転送を完了するか、[終了]を押してキャンセルします。 <p> (注) 会議ステーションでオンフック転送がサポートされている場合は、電話を切れば転送が完了します。</p>
転送先の受信者と話をしてからコールを転送する(打診転送)	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブ コールで、[転送]を押します。 2. 転送先の電話番号を入力します。 3. 転送先の受信者の応答を待機します。 4. [転送]をもう一度押して、転送を完了するか、[終了]を押してキャンセルします。 <p> (注) 会議ステーションでオンフック転送がサポートされている場合は、電話を切れば転送が完了します。</p>
コールをボイス メッセージ システムへリダイレクトする	[即転送] を押します。コールは自動的にボイス メッセージ グリーティングに転送されます。即転送は、現在アクティブなコール、呼び出し中のコール、または保留中のコールに対して使用できます。

ヒント

- 会議ステーションでオンフック転送が有効な場合は、電話を切るとコールは完了します。また、**[転送]**を押してから電話を切ってもコールは完了します。
- 会議ステーションでオンフック転送が無効な場合は、再度、**[転送]**を押さずに電話を切ると、コールは保留常態になります。
- 転送機能を使用して、保留中のコールをリダイレクトすることはできません。**[復帰]**を押すと、転送する前にコールの保留状態を解除できます。

別の電話番号へのすべてのコールの転送

着信コールを会議ステーションから別の番号へリダイレクトできます。

目的	操作
会議ステーションでコール転送を設定する	[不在] を押し、転送先の会議ステーションの電話番号を入力します。
会議ステーションのコール転送をキャンセルする	[不在] を押します。
会議ステーションでコール転送が有効であることを確認する	ステータス行でコール転送の転送先の番号を確認します。
リモートでコール転送を設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.45 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。2. コール転送設定にアクセスします。P.52 の「Web での回線設定の制御」を参照してください。

ヒント

- コールの転送先の番号を、会議ステーションでダイヤルする場合と同様に入力します。たとえば、必要に応じて、アクセス コードまたは地域コードを入力します。
- コールは従来のアナログ電話機または別の IP 会議ステーションに転送できます。ただし、システム管理者が、コール転送機能を社内の番号のみに制限している場合があります。
- システム管理者は、会議ステーションの回線のコール転送条件を変更できます。

会議コールの開始

会議ステーションでは、3つ以上の個別のコールを1つの会話に統合し、1つの会議コールを作成できます。

会議コールの種類について

会議コールには、標準とミーティングの2種類があります。

標準会議コール

標準会議は、ニーズや会議コールで使用可能なソフトキーに応じて、さまざまな方法で作成できます。

- **[会議]**: このソフトキーを使用すると、各参加者にコールすることで標準会議を開催できます。標準会議コール機能は、大半の会議ステーションで使用可能なデフォルト機能です。
- **[C 割込]**: このソフトキーを使用すると、共有回線上の既存のコールに自分自身を追加し、そのコールを標準会議コールにすることができます。この機能は、共有回線を使用する会議ステーションでのみ使用可能です。

詳細な手順については、P.25の「標準会議の開始と参加」を参照してください。

ミーティング会議コール

指定された時刻にミーティング会議ステーションの電話番号にコールすることで、ミーティング会議を開催できます。詳細な手順については、P.27の「ミーティング会議コールの開始または参加」を参照してください。

標準会議の開始と参加

標準会議では、3人以上の参加者が単一のコール上で話すことができます。

目的	操作
<ul style="list-style-type: none"> • 参加者にコールして会議を開催する • 新しい参加者を既存の会議に追加する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接続コールで、[会議]を押します([会議]ソフトキーを画面上に表示させるために、[次へ]ソフトキーを押す必要がある場合があります)。 2. 参加者の会議ステーションの電話番号を入力します。 3. コールが接続されるまで待機します。 4. [会議]をもう一度押して、参加者をコールに追加します。 5. 手順1～4を繰り返し、その他の参加者を追加します。
会議に参加する	会議ステーションで呼出音が鳴ったら、応答します。



目的	操作
コールに割り込んで会議を開催する	共有回線上のコールを強調表示し、[C 割込] を押します ([C 割込] ソフトキーを画面上に表示させるために、[次へ] ソフトキーを押す必要がある場合があります)。P.32 の「共有回線の使用方法」を参照してください。
会議参加者のリストを表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブな会議を強調表示します。 2. [参加者] を押します。 最後に追加された参加者を先頭に、会議に参加した順序で、参加者のリストが表示されます。
更新された参加者のリストを取得する	会議リストの表示中に、[更新] を押します。
会議の開催者を確認する	会議リストの表示中に、名前の隣にアスタリスク (*) が付いた、リストの最後に表示されている人物を特定します。
最後に会議に追加した参加者を削除する	<p>[ドロップ] を押します。</p> <p>参加者を削除できるのは、自分が開始した会議コールの場合だけです。</p>
任意の会議の参加者を削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加者の名前を強調表示します。 2. [削除] を押します。 <p>参加者を削除できるのは、自分が開催した会議の場合だけです。</p>
会議への参加を終了する	電話を切るか、[終了] を押します。

ヒント

- 会議ステーションの設定によっては、会議を開催した後に会議から抜けると、会議が終了する場合があります。これを避けるには、電話を切る前に会議を転送します。

ミーティングコールの開始または参加

ミーティングでは、会議の電話番号にダイヤルすることで、会議を開始したり会議に参加したりすることができます。

目的	操作
ミーティングを開設する	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム管理者から、ミーティングステーションの電話番号を入力します。 2. 参加者に番号を配信します。 3. 会議を開始する準備が整ったら、オフフックにして、ダイヤルトーンが聞こえる状態で、[ミーティング]を押します。 4. ミーティング番号をダイヤルします。 <p>これで、参加者はダイヤルインして会議に参加できるようになります。</p> <p> (注) 開催者が参加する前に、参加者が会議番号にコールすると、ビジー トーンが流れます。この場合、参加者はコールし直す必要があります。</p>
ミーティングに参加する	<p>ミーティング番号をダイヤルします。ミーティング番号は、会議の開催者によって提供されます。</p> <p> (注) 開催者が参加する前に、会議番号にコールするとビジー トーンが流れます。この場合は、コールし直します。</p>
ミーティングを終了する	<p>すべての参加者が電話を切る必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

応用的なコール処理

応用的なコール処理タスクには特殊な機能が必要です。これらの機能は、システム管理者が、コール処理のニーズや作業環境に応じて、Cisco Unified IP Conference Station 7937G に設定することができます。


短縮ダイヤル

短縮ダイヤルを使用すると、インデックス番号を入力するか、または会議ステーションの画面項目を選択して、コールを発信できます。設定に応じて、会議ステーションは複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル
- 固定短縮ダイヤル
- ファースト ダイヤル



- (注)
- 短縮ダイヤルと固定短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスします。P.45 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。
 - ファースト ダイヤルを設定するには、パーソナル ディレクトリ機能にアクセスします。P.41 の「[会議ステーションでのパーソナルディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。
 - 別の方法として、システム管理者に依頼して、短縮ダイヤル機能を設定してもらうこともできます。
-

目的	操作
短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 短縮ダイヤルを設定します。P.49 の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 短縮ダイヤル コールを発信するには、 > [短縮ダイヤル] を押してから、必要な短縮ダイヤル番号を選択します。
固定短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 固定短縮ダイヤル コードを設定します。P.49 の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 コールを発信するには、固定短縮ダイヤル コードを入力し、[短縮] を押します。
ファースト ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 個人アドレス帳のエントリを作成し、ファースト ダイヤル コードを割り当てます。P.41 の「会議ステーションでのパーソナル ディレクトリの使用方法」または P.46 の「Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。 コールを発信するには、会議ステーションのファースト ダイヤル サービスにアクセスします。P.41 の「会議ステーションでのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。

会議ステーションでのリダイレクトされたコールのピックアップ

コールピックアップを使用すると、他の社員の会議ステーションを呼び出し中のコールを、自分の会議ステーションにリダイレクトして、そのコールに回答できます。コールピックアップは、他の社員とコール処理を共有している場合に使用できます。

目的	操作
コールピックアップグループ内の別の内線番号を呼び出し中のコールに回答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかを実行します。<ul style="list-style-type: none">[ピック] ソフトキーが使用可能な場合は、それを押します。[ピック] ソフトキーが使用可能でない場合は、オフフックにして [ピック] ソフトキーを表示してから、それを押します。会議ステーションが自動ピックアップをサポートしている場合は、これでコールに接続されます。コールが呼び出されたら、[応答] を押して、コールに接続します。
グループ以外の別の内線番号を呼び出し中のコールに回答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかを実行します。<ul style="list-style-type: none">[G ピック] ソフトキーが使用可能な場合は、それを押します。[G ピック] ソフトキーが使用可能でない場合は、オフフックにして [G ピック] ソフトキーを表示してから、それを押します。グループピックアップコードを入力します。 会議ステーションが自動ピックアップをサポートしている場合は、これでコールに接続されます。コールが呼び出されたら、[応答] を押して、コールに接続します。
グループまたは関連付けられたグループ内の別の内線番号を呼び出し中のコールに回答する	<ol style="list-style-type: none">次のいずれかを実行します。<ul style="list-style-type: none">[他 Grp] ソフトキーが使用可能な場合は、それを押します。[他 Grp] ソフトキーが使用可能でない場合は、オフフックにして [他 Grp] ソフトキーを表示してから、それを押します。会議ステーションが自動ピックアップをサポートしている場合は、これでコールに接続されます。コールが呼び出されたら、[応答] を押して、コールに接続します。

ヒント

- [**ピック**] および [**G ピック**] を押すと、呼び出し時間の最も長いコールに接続されます。
- [**他 Grp**] を押すと、プライオリティの最も高いピックアップグループ内のコールに接続されます。ピックアップグループのプライオリティは、システム管理者が設定します。

パークされたコールの保持と取得

コールをパークすると、コールを保持しておき、自分または別の誰かが Cisco Unified Communications Manager システム内の別の会議ステーションからコールを取得することができます (たとえば、他の社員のデスク上の会議ステーションや会議に参加している会議ステーション)。

目的	操作
コール パークを使用してアクティブなコールを保持する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中に、[パーク] を選択します ([パーク] ソフトキーを画面上に表示させるために、[次へ] ソフトキーを押す必要がある場合があります)。 2. 会議ステーションの画面上に表示されたコール パーク番号を書き留めます。 3. いったん電話を切ります。
パークされているコールを取得する	ネットワーク内の任意の会議ステーションからコール パーク番号を入力し、そのコールに接続します。



(注) パーク中のコールの取得には時間制限があります。その時間が経過すると、パーク中のコールは再度元の番号を呼び出します。詳細については、システム管理者に問い合せてください。


共有回線の使用方法

次の場合には、システム管理者から共有回線を使用するように要求されることがあります。

- 複数の会議ステーションを保持しており、それらで1つの会議ステーション番号を共有する
- 他の社員とコール処理タスクを共有する
- 上司の代わりにコールを処理する

共有回線について

リモートで使用中のアイコン

回線を共有する別の会議ステーションが接続コールを保持している場合は、リモートで使用中のアイコン  が現れます。リモートで使用中のアイコンが表示されている場合でも、共有回線上では通常どおりコールを発信および受信できます。

コール情報の共有と割り込み

回線を共有する会議ステーションはそれぞれ、共有回線上で発信および受信したコールに関する情報を表示します。この情報には、発信者 ID と通話時間が含まれます。

このようにコール情報が表示されているときには、回線を共有するユーザは、**[割り込み]** または **[C 割り込]** のどちらかを使用して、自分自身をコールに追加することができます。P.33 の「[共有回線コールへの参加](#)」を参照してください。

プライバシー


回線を共有する他の社員に自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。また、プライバシー機能は、他の社員が自分のコールに割り込むのを阻止します。P.34 の「[他の通話者による共有回線コールの表示または割り込みの禁止](#)」を参照してください。



(注) 共有回線がサポートする最大コール数は、会議ステーションによって異なります。

共有回線コールへの参加

会議ステーションの設定に応じて、**[割込み]** または **[C 割込]** のどちらかを使用して、共有回線上のコールに自分自身を追加できます。



目的	操作
共有回線が使用中かどうかを確認する	会議ステーションの左下にリモートで使用中のアイコン  が表示されているかどうかを確認します。
[割込み] ソフトキーを使用して共有回線上のコールに自分自身を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. リモートで使用中のコールを強調表示します。 2. [割込み] を押します ([割込み] ソフトキーを画面上に表示させるために、[次へ] ソフトキーを押す必要がある場合があります)。新しい通話者が追加されたことを知らせるピープ音が、他の通話者に聞こえます。
[C 割込] ソフトキーを使用して共有回線上のコールに自分自身を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. リモートで使用中のコールを強調表示します。 2. [C 割込] を押します ([C 割込] ソフトキーを画面上に表示させるために、[次へ] ソフトキーを押す必要がある場合があります)。他の通話者には、トーンと短い中断音が聞こえ、会議ステーションの画面上のコール情報が変更されます。
割込んだコールに新しい会議参加者を追加する	<p>使用可能な場合は、[C 割込] を使用してコールに割込みます。</p> <p>[割込み] と異なり、[C 割込] はコールを標準会議コールに変換するため、新しい参加者を追加することができます。P.25 の「会議コールの開始」を参照してください。</p>
割込んだコールから抜ける	<p>電話を切ります。</p> <p>[割込み] を使用した後に電話を切ると、他の通話者には切断のトーン音が聞こえ、元のコールは継続されます。</p> <p>[C 割込] を使用した後に電話を切ると、コールは会議コールのまま残ります (3人以上の参加者が回線に残っている場合)。</p>

ヒント

- 共有回線を使用している会議ステーションのプライバシー機能を有効にすると、その回線を共有する他の会議ステーションには、コール情報と割込み用のソフトキーは表示されません。
- コールが保留状態になったか、転送されたか、または会議コールに切り替えられた場合は、**[割込み]** を使用して参加していたコールから切断されます。

他の通話者による共有回線コールの表示または割込みの禁止

会議ステーションの回線を共有している場合は、プライバシー機能を使用して、その回線を共有する他の通話者が自分のコールを表示したり、コールに割込んだり（自身を追加）することを禁止することができます。ユーザのプライバシー機能は、システム管理者が設定する必要があります。

目的	操作
他の通話者による共有回線上のコールの表示または割込みを禁止する	<ol style="list-style-type: none">1. [プライバシー] を押します。2. プライバシ機能が有効であることを確認するには、メイン ディスプレイ画面で電話番号の隣にある機能有効アイコン  を確認します。
他の通話者に共有回線上のコールの表示または割込みを許可する	<ol style="list-style-type: none">1. [プライバシー] を押します。2. プライバシ機能が無効であることを確認するには、メイン ディスプレイ画面で電話番号の隣にある機能無効アイコン  を確認します。

ヒント

- 回線を共有する会議ステーションのプライバシー機能が有効な場合でも、共有回線を使用して、通常どおり、コールを発信および受信できます。



不審なコールのトレース

不審なコールや悪意あるコールを受信した場合は、システム管理者に依頼して、Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼の識別) 機能を会議ステーションに追加できます。この機能は、アクティブなコールを不審なコールとして識別すると、一連の自動追跡を開始し、通知メッセージを送信します。

目的	操作
不審なコールや嫌がらせのコールを受信したことをシステム管理者に通知する	[迷惑呼] を押します。 会議ステーションで、トーン音が鳴り、「迷惑呼が成功しました」というメッセージが表示されます。

Cisco エクステンション モビリティの使用法

Cisco Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) を使用すると、一時的に会議ステーションを自分専用として設定できます。EM にログインすると、会議ステーションはログインしたユーザのユーザ プロファイルを採用します。ユーザ プロファイルには、会議ステーションの回線、機能、設定済みのサービス、および Web ベースの設定が含まれます。EM は、システム管理者がユーザに対して設定する必要があります。

目的	操作
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [サービス] > [EM Service] (項目名は異なる場合があります) を選択します。 2. ログイン ID と PIN (システム管理者が提供) を入力します。 3. 要求された場合は、デバイス プロファイルを選択します。
EM からログオフする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [サービス] > [EM Service] (項目名は異なる場合があります) を選択します。 2. ログアウトするか確認が求められたら、[はい] を押します。

ヒント

- EM は、一定時間が経過すると、自動的にユーザをログアウトします。この時間制限は、システム管理者によって規定されます。
- EM プロファイルに加えた変更 (ユーザ オプション Web ページから) は、次に、会議ステーション上で EM にログインしたときに有効になります。
- 会議ステーション上でのみ制御される設定値は、EM プロファイルでは保持されません。

自動応答の使用法





自動応答機能が有効な場合は、数回呼出音が鳴った後、会議ステーションが着信コールに自動的に応答します。自動応答機能は、システム管理者が会議ステーションに設定します。大量の着信コールを受信している場合などに、自動応答を使用することができます。

会議ステーションの設定の変更

呼出音のタイプと音量、ディスプレイ画面、およびボイス メッセージ インジケータを調整することで、Cisco Unified IP Conference Station 7937G を個人設定できます。


呼出音とメッセージ インジケータのカスタマイズ

会議ステーションが着信コールや新しいボイス メッセージを示す方法をカスタマイズできます。また、会議ステーションの呼出音の音量を調整することもできます。


目的	操作
呼出音のタイプを変更する	<ol style="list-style-type: none"> > [設定] > [ユーザ設定] > [呼出音タイプ] を選択します。呼出音のタイプを強調表示し、[再生] を押してサンプルを聞きます。[選択] を押してから [保存] を押し、呼出音のタイプを設定します。
会議ステーションが新しいボイス メール メッセージを示す方法を変更する	<ol style="list-style-type: none">ユーザ オプション Web ページにログインします。P.45 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。メッセージの設定にアクセスします。P.52 の「Web での回線設定の制御」を参照してください。 <p> (注) 場合によっては、この設定にアクセスするために、事前にシステム管理者にアクセスを有効にもらう必要があります。</p>
会議ステーションの呼出音の音量レベルを調整する	会議ステーションがオンフックの間に(つまり、コール アクティビティがない期間)  または  を押します。音量は、自動的に保存されます。

会議ステーションのディスプレイ画面のカスタマイズ

会議ステーションのディスプレイ画面の特性を調整できます。





目的	操作
ディスプレイ画面のコントラストを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [設定] > [ユーザ設定] > [コントラスト] を選択します。 2. コントラストの設定を調整するには、[アップ] または [ダウン] を押します。 3. [保存] を押します。
ディスプレイ画面の言語を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.45 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 2. ユーザ設定にアクセスします。P.51 の「Web でのユーザ設定の制御」を参照してください。

通話履歴およびディレクトリの使用方法

ここでは、Cisco Unified IP Conference Station 7937G で通話履歴およびディレクトリを使用する方法について説明します。どちらの機能にアクセスする場合も、ディレクトリ ボタン  を使用します。

通話履歴の使用方法

会議ステーションは、通話履歴を保持しています。通話履歴には、不在履歴、発信履歴、着信履歴のレコードが含まれます。

目的	操作
通話履歴を表示する	 > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。各履歴には、最大 100 レコードまで保存されます。短縮されたリストを表示するには、[編集] を押します。
通話履歴を削除する	 を選択し、[クリア] を押します。これで、すべての履歴のすべてのレコードが削除されます。
通話履歴からダイヤルする（別のコールに接続していない場合）	<ol style="list-style-type: none">1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。2. 履歴内のコールレコードを強調表示します。3. オフフックにして、コールを発信します。
通話履歴からダイヤルする（別のコールに接続している場合）	<ol style="list-style-type: none">1.  > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。2. 履歴内のコールレコードを強調表示します。3. [ダイヤル] を押します。4. メニュー項目を選択して、元のコールを処理できます。<ul style="list-style-type: none">- [保留]: 1 番目のコールを保留にし、2 番目の番号をダイヤルします。- [転送]: 1 番目の相手を 2 番目の相手に転送し、自分はコールから抜けます（ダイヤル後に [転送] をもう一度押すと、アクションは完了します）。- [会議]: 自分を含むすべての相手先との会議コールを開始します（ダイヤル後に [会議] をもう一度押すと、アクションは完了します）。- [終了]: 1 番目のコールを切断し、2 番目の番号をダイヤルします。


ディレクトリ ダイヤル


設定によっては、会議ステーションは社内ディレクトリとパーソナル ディレクトリの両方の機能を提供できます。

- 社内ディレクトリ：会議ステーションでアクセスできる社内の連絡先。社内ディレクトリは、システム管理者によって設定され管理されます。
- パーソナル ディレクトリ：自分で設定し、会議ステーションおよびユーザ オプション Web ページからアクセスできる個人の連絡先と関連付けられたファースト ダイヤル コード。パーソナル ディレクトリには、次のメニュー項目があります。
 - [個人アドレス帳] (PAB)：個人の連絡先のディレクトリ。
 - [ファーストダイヤル]：すばやくダイヤルする方式。PAB エントリと会議ステーションの電話番号をファースト ダイヤル リストに割り当てることができます。すばやくダイヤルするため、ダイヤルする番号をリストで検索します。

会議ステーションでの社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用して他の社員にコールを発信できます。

目的	操作
社内ディレクトリからダイヤルする(別のコールに接続していない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [社内ディレクトリ] (名前は異なる場合がある) を選択します。 2. キーパッドを使用してフルネームまたは名前の一部を入力して、[検索] を押します。 3. ダイヤルするには、リスト項目を押すか、リスト項目までスクロールしてから、オフフックにします。


目的	操作
社内ディレクトリからダイヤルする(別のコールに接続している場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [社内ディレクトリ](名前は異なる場合がある)を選択します。 2. キーパッドを使用してフルネームまたは名前の一部を入力して、[検索]を押します。 3. リスト項目までスクロールしてから、[ダイヤル]を押します。 4. メニュー項目を選択して、元のコールを処理できます。 <ul style="list-style-type: none"> - [保留]: 1番目のコールを保留にし、2番目の番号をダイヤルします。 - [転送]: 1番目の相手を2番目の相手に転送し、自分はコールから抜けます(ダイヤル後に[転送]をもう一度押すと、アクションは完了します)。 - [会議]: 自分を含むすべての相手先との会議コールを開始します(ダイヤル後に[会議]をもう一度押すと、アクションは完了します)。 - [終了]: 1番目のコールを切断し、2番目の番号をダイヤルします。

ヒント

- キーパッドの数字キーを使用して、会議ステーションの画面上に文字を入力できます。会議ステーションのナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動できます。

会議ステーションでのパーソナル ディレクトリの使用方法

パーソナル ディレクトリの機能セットには、PAB とファースト ダイヤルがあります。ここでは、会議ステーションでパーソナル ディレクトリを設定し使用方法について説明します。Web 上でパーソナル ディレクトリを使用する方法については、P.46 の「Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。

目的	操作
パーソナル ディレクトリにアクセスする (PAB およびファースト ダイヤル コードの場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [パーソナルディレクトリ] (名前は異なる場合がある) を選択します。 2. パーソナル ディレクトリのログイン ID と PIN を入力して、[送信] を押します。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナル ディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳] を選択します。 2. 検索条件を入力して、[送信] を押します。 [前へ] または [次へ] を選択して、リスト内を移動できます。 3. 対象の PAB エントリを強調表示し、[選択] を押します。
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. エントリを強調表示し、[選択] を押します。 3. [ダイヤル] を押します ([ダイヤル] ソフトキーを画面上に表示させるために、[次へ] ソフトキーを押す必要がある場合があります)。 4. ダイヤルする番号を強調表示して、[OK] を押します。 5. [OK] をもう一度押して、番号をダイヤルします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. リストを強調表示し、[選択] を押します。 3. [削除] を押します ([削除] ソフトキーを画面上に表示させるために、[次へ] ソフトキーを押す必要がある場合があります)。 4. [OK] を押して、削除を確定します。

目的	操作
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. エントリを強調表示し、[選択] を押します。 3. [編集] を押して、名前または E メール アドレスを変更します([編集] ソフトキーを画面上に表示させるために、[次へ] ソフトキーを押す必要がある場合があります)。 必要に応じて、[電話] を選択して、電話番号を変更します。 4. [更新] を押します。
新しい PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナルディレクトリにアクセスし、[個人アドレス帳] を選択します。 2. [送信] を押します。 3. [新規] を押します([新規] ソフトキーを画面上に表示させるために、[次へ] ソフトキーを押す必要がある場合があります)。 4. 会議ステーションのキーパッドを使用して、名前および E メール情報を入力します。 5. [電話] を選択してから、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必ず、9 または 1 などの必要なアクセスコードはすべて含めてください。 6. [送信] を押して、エントリをデータベースに追加します。
ファースト ダイヤル コードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. エントリを強調表示し、[選択] を押します。 3. [ファーストダイヤル] を押します 4. ファースト ダイヤル リストに追加する番号を強調表示し、[選択] を押します。 5. 未割り当てのファースト ダイヤル リスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
新しいファースト ダイヤル コードを追加する (PAB エントリを使用しない)	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナル ディレクトリにアクセスし、[個人ファーストダイヤル] を選択します。 2. 未割り当てのファースト ダイヤル リスト項目を強調表示し、[選択] を押します (未割り当ての項目を表示するために、[次へ] ソフトキーを押す必要がある場合があります)。 3. [割り当て] を押します。 4. 電話番号を入力します。 5. [更新] を押します。

目的	操作
ファースト ダイヤル コードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナル ディレクトリにアクセスし、[個人ファーストダイヤル]を選択します。 2. 対象のリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。 [前へ]または[次へ]を選択して、リスト内を移動できます。
ファースト ダイヤル コードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイヤル リストを検索します。 2. 対象のリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。 3. [ダイヤル]を押します 4. [OK]を押して、アクションを完了します。
ファースト ダイヤル コードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイヤル リストを検索します。 2. 対象のリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。 3. [削除]を押します。
パーソナル ディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1. [パーソナルディレクトリ]メニューで、[ログアウト]を強調表示し、[選択]を押します。 2. [OK]を押します。

ヒント

- パーソナルディレクトリにログインするために必要なログイン ID と PIN は、システム管理者から取得できます。
- パーソナルディレクトリは、一定時間が経過すると、自動的にユーザをログアウトします。この時間制限は設定に応じて異なります。詳細については、システム管理者に問い合せてください。
- キーボードの数字キーを使用して、会議ステーションの画面上に文字を入力できます。会議ステーションのナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動できます。

ボイス メッセージへのアクセス

ボイス メッセージにアクセスするには、[メッセージ] ソフトキーを使用します。



(注) Cisco Unified IP Conference Station 7937G システムがどのボイス メッセージ サービスを使用するかは、会社ごとに異なります。最も正確で詳細な情報については、お使いのボイス メッセージ サービスに付属のドキュメントを参照してください。

目的	操作
ボイス メッセージ サービスをセットアップして個人設定する	[メッセージ] ソフトキーを押し、自動音声応答システムの指示に従ってください。ディスプレイ画面にメニューが表示されたら、該当するメニュー項目を選択します。
新しいボイス メッセージがあるか確認する	次のビジュアルおよびオーディオ アラートを確認します。 <ul style="list-style-type: none">会議ステーションの赤色の LED インジケータディスプレイ画面のメッセージ アイコンコール発信時のスタッター ダイアル トーン メッセージ インジケータの設定方法については、 P.36 の「呼出音とメッセージ インジケータのカスタマイズ」 を参照してください。
ボイス メッセージを再生する、またはボイス メッセージ メニューにアクセスする	[メッセージ] ソフトキーを押します。 お使いのボイス メッセージ サービスによって、メッセージ サービスが自動ダイヤルされるか、またはディスプレイ画面にメニューが表示されます。
コールをボイス メッセージ システムへ送信する	[即転送] ソフトキーを押します。 即転送機能は、コール（呼び出し中および保留中のコールを含め）をボイス メッセージ システムへ自動的に転送します。発信者には、ボイス メッセージ グリーティングが聞こえます。この時点で、メッセージを終了できます。

ユーザ オプション Web ページの使用法

Cisco Unified IP Conference Station 7937G は、パーソナル コンピュータを含め、社内の他のネットワーク デバイスと情報を共有できるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用してユーザ オプション Web ページにログインし、会議ステーションの機能、設定、およびサービスを制御できます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

ここでは、ログインして、会議ステーションを選択する方法について説明します。

目的	操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none"> Cisco Unified Communications Manager のユーザ オプション Web ページの URL、ユーザ名、およびパスワードをシステム管理者から取得します。 コンピュータ上で Web ブラウザを開き、URL を入力し、ログインします。セキュリティ設定を受け入れるか確認を求められたら、[はい] または [証明書のインストール] をクリックします。 <p>Cisco Unified Communications Manager のユーザ オプション メイン Web ページが表示されます。このページで、[ユーザオプション] を選択して、デバイス設定、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファースト ダイヤルにアクセスできます。</p>
ログイン後にデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none"> ユーザ オプション Web ページにログインし、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 <p>[デバイス設定] ページが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 複数の会議ステーションが割り当てられている場合は、適切な会議ステーションが選択されていることを確認します。必要な場合は、[名前] ドロップダウンリストから別の会議ステーションを選択します。 <p>[デバイス設定] ページから、回線設定、短縮ダイヤル、電話機のサービス、サービス URL などの会議ステーション固有のオプションにアクセスできます。</p> <p>別のページから [デバイス設定] ページに戻るには、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。</p>

Web での機能およびサービスの設定

ここでは、ユーザ オプション Web ページにログインした後、機能とサービスを設定する方法について説明します。ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法については、[P.45 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」](#)を参照してください。

Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法

お使いのコンピュータ上でアクセス可能なパーソナル ディレクトリ機能セットには、次の機能が含まれています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファースト ダイヤル
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer



(注) PAB とファースト ダイヤルには、会議ステーションからアクセスすることもできます。[P.41 の「会議ステーションでのパーソナル ディレクトリの使用方法」](#)を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用方法

ここでは、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用方法について説明します。ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法については、[P.45 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」](#)を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
新しい PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. [新規追加] をクリックします。3. エントリの情報を入力します。4. [保存] をクリックします。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. 検索情報を指定して、[検索] をクリックします。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. 編集する PAB エントリを検索します。3. 編集する PAB エントリのニックネームをクリックします。4. エントリを編集し、[保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。 2. 削除する PAB エントリを検索します。 3. 削除する PAB エントリの隣にあるチェックボックスをオンにします。 4. [選択項目の削除] をクリックします。

Web でのファースト ダイアルの設定

ここでは、ユーザ オプション Web ページからファースト ダイアルを割り当てる方法について説明します。ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法については、P.45 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
ファースト ダイアル コードを PAB エントリに割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイアルを割り当てる PAB エントリを作成します。PAB エントリの作成方法については、前の項を参照してください。 2. [ユーザオプション] > [ファーストダイアル] を選択します。 3. [新規追加] をクリックします。 4. 必要な場合は、[ファーストダイアルのエントリ] エリアで、ファーストダイアル インデックス番号を変更します。 5. 手順 1 で作成した PAB エントリを検索します。 6. 検索結果エリアで、PAB エントリの電話番号をクリックします。 [電話番号] フィールドに電話番号が自動的に表示されます。 7. [保存] をクリックします。
ファースト ダイアル コードを会議ステーションの電話番号に割り当てる (PAB エントリを使用しない)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ファーストダイアル] を選択します。 2. [新規追加] をクリックします。 3. 必要な場合は、[ファーストダイアルのエントリ] エリアで、ファーストダイアル インデックス番号を変更します。 4. [電話番号] フィールドに、会議ステーションの電話番号を入力します。 5. [保存] をクリックします。
ファースト ダイアル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ファーストダイアル] を選択します。 2. 検索情報を指定して、[検索] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
ファースト ダイアル会議ステーション番号を編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ファーストダイアル] を選択します。 2. 編集するファースト ダイアル エントリを検索します。 3. 検索結果エリアで、ファースト ダイアル エントリのコンポーネントをクリックします。 4. [電話番号] フィールドで、会議ステーションの電話番号を変更します。 5. [保存] をクリックします。
ファースト ダイアル エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ファーストダイアル] を選択します。 2. 削除するファースト ダイアル エントリを検索します。 3. 削除するファースト ダイアル エントリの隣にあるチェックボックスをオンにします。 4. [選択項目の削除] をクリックします。

ヒント

- 最大 500 件までファースト ダイアル エントリと PAB エントリを作成できます。
- PAB エントリを使用せずに新しいファースト ダイアル エントリを作成した場合、ユーザ オプション Web ページではそのファースト ダイアル エントリに「Raw」ラベルが付けられます。エントリは、設定可能なテキスト ラベルは表示されず、PAB 内に一致するエントリはありません。

アドレス帳同期ツールの使用方法

Cisco Unified Communications Manager の Address Book Synchronizer を使用して、既存の Microsoft Windows のアドレス帳（適用可能な場合）と PAB を同期できます。同期後は、会議ステーションおよびユーザ オプション Web ページから、Microsoft Windows のアドレス帳のエントリにアクセスできます。シンクロナイザへのアクセス方法、およびインストールに関する詳細な手順は、システム管理者に確認してください。

Web での短縮ダイヤルの設定


設定に応じて、会議ステーションは複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤル
- 固定短縮ダイヤル
- ファーストダイヤル



(注) 短縮ダイヤル機能の詳細については、[P.28 の「短縮ダイヤル」](#)を参照してください。

ここでは、ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル機能を設定する方法について説明します。ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法については、[P.45 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」](#)を参照してください。


目的	ログイン後に必要な操作
短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. 複数のデバイスがある場合は、デバイスを選択します。 3. [短縮ダイヤル] をクリックします。 4. [短縮ダイヤル設定] エリアで、短縮ダイヤル エントリの番号とラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。 <p> (注) 会議ステーションは、2 バイト文字セットをサポートしていない場合、ASCII ラベルフィールドを使用します。</p>
固定短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. 複数のデバイスがある場合は、デバイスを選択します。 3. [短縮ダイヤル] をクリックします。 4. [固定短縮ダイヤル設定] エリアで、固定短縮ダイヤル エントリの番号とラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。
ファーストダイヤルを設定する	<p>P.47 の「Web でのファーストダイヤルの設定」を参照してください。</p> <p>ファーストダイヤルは、会議ステーションで設定することもできます。P.41 の「会議ステーションでのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。</p>

Web での会議ステーション サービスの設定

会議ステーション サービスには、特殊な会議ステーション機能、ネットワーク データ、および Web ベースの情報（株価情報、映画一覧など）を含めることができます。事前に会議ステーション サービスに登録してから、会議ステーションにアクセスする必要があります。

ここでは、ユーザ オプション Web ページを使用して会議ステーション サービスを設定する方法について説明します。ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法については、P.45 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。2. 複数のデバイスがある場合は、デバイスを選択します。3. [IP Phone サービス] をクリックします。4. [新規追加] をクリックします。5. [サービスの選択] ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ] をクリックします。6. [保存] をクリックします。
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。2. 複数のデバイスがある場合は、デバイスを選択します。3. [IP Phone サービス] をクリックします。4. [検索] をクリックします。
サービスを終了する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。2. 複数のデバイスがある場合は、デバイスを選択します。3. [IP Phone サービス] をクリックします。4. [検索] をクリックします。5. 終了するサービスの隣にあるチェックボックスをオンにします。6. [選択項目の削除] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. 複数のデバイスがある場合は、デバイスを選択します。 3. [IP Phone サービス] をクリックします。 4. [検索] をクリックします。 5. 更新するサービスの名前をクリックします。 6. サービス情報を変更します。 7. [保存] をクリックします。
会議ステーションのサービスにアクセスする	会議ステーションから、  > [サービス] を選択します。

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）設定が含まれます。

PIN およびパスワードを使用して、さまざまな機能やサービスにアクセスできます。たとえば、PIN を使用すると、会議ステーションで Cisco エクステンション モビリティやパーソナル ディレクトリにログインできます。パスワードを使用すると、パーソナル コンピュータ上で、ユーザ オプション Web ページと Cisco WebDialer にログインできます。詳細については、システム管理者に問い合せてください。

ここでは、ユーザ オプション Web ページからユーザ設定を制御する方法について説明します。ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法については、P.45 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ブラウザのパスワード] エリアで、パスワード情報を入力します。 3. [保存] をクリックします。
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [電話の PIN] エリアで、PIN 情報を入力します。 3. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
ユーザオプション Web ページの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ユーザ設定]を選択します。 2. [ユーザロケール]エリアで、[ロケール]ドロップダウン リストから Web ページの言語を選択します。 3. [保存]をクリックします。
会議ステーション画面の言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[デバイス]を選択します。 2. 複数のデバイスがある場合は、言語を変更する必要があるデバイスを選択します。 3. [ユーザロケール]ドロップダウン リストから、会議ステーション画面の言語を選択します。 4. [保存]をクリックします。


Web での回線設定の制御




回線の設定には、コール転送、ボイス メッセージ インジケータ、呼出音のタイプ、および会議ステーションに設定されている回線テキスト ラベルが含まれます。



- (注)
- 会議ステーション上で直接、コール転送を設定できます。P.24 の「別の電話番号へのすべてのコールの転送」を参照してください。
 - 会議ステーション上で直接アクセスできる電話の設定については、P.36 の「会議ステーションの設定の変更」を参照してください。
 - デフォルトでは、呼出音タイプ オプションと回線のテキスト ラベル オプションは、ユーザ オプション Web ページには表示されません。これらのオプションにアクセスできるように設定されているかどうかは、システム管理者に問い合せてください。

ここでは、ユーザ オプション Web ページから更新可能な回線の設定について説明します。ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法については、P.45 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。

目的	ログイン後に必要な操作
コール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. 複数のデバイスがある場合は、デバイスを選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. [着信コールの転送] エリアで、各種条件に対応したコール転送の設定を選択します。 5. [保存] をクリックします。
メッセージ インジケータの設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. 複数のデバイスがある場合は、デバイスを選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. [メッセージ受信ランプ] エリアで、[メッセージ受信ランプポリシー] ドロップダウン リストからポリシーを選択します。 ポリシーによって、会議ステーションが新しいボイス メッセージを通知する方法が決まります。会議ステーションは、受信ランプのオンへの切り替え、またはプロンプトの表示 (会議ステーション画面上のメッセージ)、もしくはその両方によって新しいメッセージを通知することができます。 <p style="margin-left: 20px;"> (注) 通常は、システム ポリシーに従い、会議ステーションは赤色のランプの点灯によって新しいボイス メッセージがあることを通知します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. [保存] をクリックします。
オーディオ メッセージ インジケータの設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. 複数のデバイスがある場合は、デバイスを選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. [オーディオメッセージ受信インジケータ] エリアで、[オーディオメッセージ受信インジケータのポリシー] ドロップダウン リストからポリシーを選択します。 メッセージ インジケータをオンにして、新しいボイス メッセージを受信すると、コールの発信時にスタッター ダイアル トーンが聞こえます。 5. [保存] をクリックします。

目的	ログイン後に必要な操作
呼出音タイプを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. 複数のデバイスがある場合は、デバイスを選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. [呼出音設定] エリアで設定値を選択し、会議ステーションが着信コールを通知する方法を指定します。 5. [保存] をクリックします。 <p style="text-align: center;"></p> <p>(注) 「アイドル」呼出音設定は、会議ステーションがアイドルのときに、着信コールを受信する場合に適しています。「アクティブ」呼出音設定は、会議ステーションがアクティブなときに、着信コールを受信する場合に適しています。</p>
相手の会議ステーションに表示され、発信元の電話番号を識別するテキスト(回線のテキストラベル)を更新する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. 複数のデバイスがある場合は、デバイスを選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. [回線のテキストラベル] エリアで、別の会議ステーションにコールしたときに、発信元の電話番号を識別するテキストを入力します。 <p style="text-align: center;"></p> <p>(注) 回線のテキストラベルが指定されていない場合、着信側の会議ステーションには電話番号が表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. [保存] をクリックします。 <p style="text-align: center;"></p> <p>(注) 会議ステーションは、2 バイト文字セットをサポートしていない場合、ASCII ラベル フィールドを使用します。</p>

Cisco WebDialer の使用法

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、会議ステーションからディレクトリ内の連絡先へコールを発信できます。この機能は、システム管理者が設定する必要があります。

目的	操作
Cisco Unified Communications Manager のユーザ オプション ディレクトリで Cisco WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.45 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 2. [ユーザオプション]>[ディレクトリ]を選択し、他の社員を検索します。 3. ダイヤルする番号をクリックします。 4. 初めて Cisco WebDialer を使用する場合は、初期設定を行い、[送信]をクリックします（詳細については、この表の最後の行を参照してください）。 5. コールの開始ページが表示されたら、[ダイヤル]をクリックします（今後、必要に応じてこのページを表示しないようにする方法については、この表の最後の行を参照してください）。 これで、会議ステーション上でコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了]をクリックするか、会議ステーションで電話を切ります。
別のオンライン社内ディレクトリ（Cisco Unified Communications Manager のユーザ オプション ディレクトリ以外）で Cisco WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cisco WebDialer 対応の社内ディレクトリにログインし、他の社員を検索します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。 4. 初めて Cisco WebDialer を使用する場合は、初期設定を行い、[送信]をクリックします（詳細については、この表の最後の行を参照してください）。 5. コールの開始ページが表示されたら、[ダイヤル]をクリックします（今後、必要に応じてこのページを表示しないようにする方法については、この表の最後の行を参照してください）。 これで、会議ステーション上でコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了]をクリックするか、会議ステーションで電話を切ります。

目的	操作
Cisco WebDialer からログアウトする	コールの開始ページまたはコールの終了ページでログアウト アイコンをクリックします。
Cisco WebDialer 初期設定を設定、表示、または変更する	<p data-bbox="413 267 844 297">[初期設定] ページにアクセスします。</p> <p data-bbox="413 321 1214 386">[初期設定] ページは、Cisco WebDialer の初回使用時 (ダイヤルする番号をクリックした後) に表示されます。</p> <p data-bbox="413 410 1214 475">それ以降に [初期設定] ページを表示するには、コールの開始ページまたはコールの終了ページで初期設定アイコンをクリックします。</p> <p data-bbox="413 500 1022 529">[初期設定] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul data-bbox="427 553 1214 1003" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="427 553 1214 613">• [優先する言語]: Cisco WebDialer 設定およびプロンプトで使用される言語を指定します。 <li data-bbox="427 630 1214 690">• [常設の電話を使う]: Cisco WebDialer によるコールの発信に使用する会議ステーションと電話番号 (回線) を指定します。 <li data-bbox="427 706 1214 797">• [エクステンションモビリティを使用する]: 選択すると、Cisco WebDialer は、Cisco エクステンション モビリティ プロファイルに関連付けられた会議ステーションを使用します (使用可能な場合)。 <li data-bbox="427 813 1214 930">• [コールの確認ダイアログを表示しない]: 選択すると、Cisco WebDialer はコールの開始ページを表示しません。デフォルトでは、このページは、Cisco WebDialer 対応のオンライン ディレクトリ内で会議ステーションの番号をクリックした後に表示されます。 <li data-bbox="427 946 1214 1003">• [Disable Auto Close]: 選択すると、Cisco WebDialer はコールの終了ページを表示しません。

その他の設定オプションについて

システム管理者は、特定のボタンおよびソフトキー テンプレート、さらに適用可能な場合には、特殊なサービスや機能を使用するように、Cisco Unified IP Conference Station 7937G を設定することができます。次の表では、いくつかの設定オプションについて概要を示します。コール処理のニーズや作業環境に基づいて、システム管理者と相談するときに役立ちます。

ニーズ	対処	詳細情報の参照先
会議ステーションの回線上でより多くのコールを処理する必要がある	使用中の回線がより多くのコールをサポートできるように、設定の変更をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話サポートチームに相談します。
より多数の短縮ダイヤル エントリが必要である	最初に、すべての短縮ダイヤル エントリが割り当てられていることを確認します。 追加の短縮ダイヤルが必要な場合は、固定短縮ダイヤルまたはファーストダイヤルの使用を検討してください。	P.28 の「 短縮ダイヤル 」を参照してください。
複数の電話機で 1 つの内線番号を使用したい	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば、デスク上の電話とラボの電話で 1 つの内線番号を使用できます。	P.32 の「 共有回線の使用方法 」を参照してください。

ニーズ	対処	詳細情報の参照先
会議ステーションまたはオフィス空間を他の社員と共有する	<p>次の機能を使用することを検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コール パーク：転送機能を使用せずにコールを保持および取得します。 • コール ピックアップ：別の電話を呼び出し中のコールに応答します。 • 共有回線：他の社員のコールを表示したり、そのコールに参加したりできます。 • Cisco エクステンション モビリティ：会議ステーション番号とユーザ プロファイルを共有会議ステーションに適用します。 	<p>これらの機能についてはシステム管理者に問い合せるとともに、次の項を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 応用的なコール処理 (P.28) • 共有回線の使用方法 (P.32) • 不審なコールのトレース (P.34) • Cisco エクステンション モビリティの使用方法 (P.35)
別の人の代わりに、頻繁にコールに応答したり、コールを処理したりする	システム管理者に、会議ステーションの自動応答機能の設定を依頼します。	P.35 の「自動応答の使用方法」 を参照してください。
会議ステーションの番号と設定を共有会議ステーションに一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについて、システム管理者に問い合せてください。	P.35 の「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」 を参照してください。

会議ステーションのトラブルシューティング

ここでは、Cisco Unified IP Conference Station 7937G のトラブルシューティングについて説明します。

一般的なトラブルシューティング




ここでは、会議ステーションの一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

症状	説明
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない	次の 1 つ以上が要因となっている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。 • 会議ステーションには、一定の時間帯に一部の機能の使用を禁止する時間帯制限があります。
会議ステーションのボタンが反応しない	システム管理者が、会議ステーションのそのボタンを無効にしている可能性があります。
使用したいソフトキーが表示されない	次の 1 つ以上が要因となっている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 回線状態を変更する必要があります(たとえば、オフフック状態にする、または接続コールを保持する)。 • 画面上に表示されていない他のソフトキーを表示するには、[次へ] を押す必要があります。 • 会議ステーションが、そのソフトキーに関連付けられた機能をサポートするように設定されていません。

症状	説明
[割込み] が失敗し、その結果、速いビジー音が聞こえる	<p>次の 1 つ以上が要因となっている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用中の会議ステーションが暗号化に対応するように設定されていない場合、暗号化されたコールには割込みできません。この理由で割込みに失敗した場合、会議ステーションは速いビジー音を流します。 • [プライバシ] ソフトキーがオンになっています。
[割込み] を使用して参加したコールから切断された	<p>コールが保留状態になったか、転送されたか、または会議コールに切り替えられた場合は、[割込み] を使用して参加していたコールから切断されます。</p>
Cisco CallBack が失敗した	<p>相手側でコール転送が有効になっている可能性があります。</p>

会議ステーションの管理データの表示

システム管理者から、トラブルシューティングを目的に、会議ステーション上の管理データにアクセスするように要求される場合があります。

目的	操作
ネットワーク設定データにアクセスする	 > [設定] > [ネットワークの設定] を選択し、表示する項目までナビゲートします。
ステータス データにアクセスする	 > [設定] > [ステータス] を選択し、表示する項目までナビゲートします。
会議ステーションのモデル情報にアクセスする	 > [設定] > [モデル情報] を選択し、表示する項目までナビゲートします。

品質レポート ツール (QRT) の使用方法

システム管理者は、パフォーマンス問題をトラブルシューティングするために、一時的に会議ステーションに Quality Reporting Tool (QRT; 品質レポート ツール) を設定することができます。[品質] を押すと、システム管理者に情報を送信できます。設定に応じて、QRT を使用して次のことを実行できます。

- 現在のコールのオーディオ問題を即時にレポートする
- カテゴリのリストから一般的な問題を選択し、理由コードを選択する

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com から入手できます。次の手順を実行して、Cisco.com から Cisco Information Packet、保証書、およびライセンス契約書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpkc/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03B0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先：	
購入先担当者の電話番号：	
製品モデル番号：	
製品シリアル番号：	
メンテナンス契約番号：	

Index

A

Address Book Synchronizer 48
ASCII ラベル フィールドのサポート 49

C

Cisco Unified Communications Manager
 Address Book Synchronizer 48
 ユーザ オプション Web ページ 45 56
Cisco Unified IP Conference Station 7937G、「会議ステーション」を参照
Cisco WebDialer、使用 18, 55 56
Cisco エクステンション モビリティ 19, 35
C 割込
 使用方法 33
 ~ について 25
 「割込み」を参照

E

EM 19, 35

G

G ピック 30

L

LED インジケータ、概要 10

M

MCID 34

P

PAB
 Web ページから使用 46 47
 アクセス 41
 会議ステーションから使用 19, 41 43
 ~ について 39
PIN、変更 51

Q

QRT 61

T

TAPS 8
Tool for Auto-Registered Phones Support 8

W			
Web ベースのサービス、設定	45		
WebDialer、使用	18, 55	56	
あ			
アイコン			
コール状態	13		
~の回線	13		
アプリケーション ボタン、概要	12		
安全上の警告	3		
え			
エクステンション モビリティ	19, 35		
お			
オフフック、概要	17		
オフフックにする	17		
オンフック、概要	17		
音量、呼出音の調整	36		
か			
会議コール	25	27	
会議ステーション			
回線、説明	13		
外部電源の使用	6	7	
機能の設定	16, 57		
共有	58		
クリーニング	15		
サービス	50	51	
接続、図	5	7	
設置	5	7	
電源インターフェイス ケーブルへの接続	6		6
登録	8		
トラブルシューティング	59	61	
ネットワークへの接続	5		
~の概要	9	16	
~の図	10		
~のマニュアル	2		
ボイスメールの設定、調整	36		
ボタン	10	12	
マイクロフォン、使用	6		
モバイル デバイス、使用	6		
呼出音、音量の調整	36		
会議ステーションの共有	58		
会議ステーションの設置	5	8	
回線			
共有	32		
コール状態	13		
コールとの比較	13		
サポートされるコール数	13, 57		
とコール転送	24, 52	53	
~のアイコン	13		
~の説明	13		
ボイス メッセージの設定	52	53	
呼出音のタイプ	36		
外部電源			
使用方法	6	7	
~について	7		
~の図	7		
外部マイクロフォン、図	6		
画面、コントラストの調整	37		
管理データ、表示	61		

- き
- 機能、アベイラビリティ 16, 57
 - 機能メニュー 16
 - 共有回線
 - とリモートで使用中のアイコン 32
 - ～の説明 32
 - プライバシーを使用 34
 - 割り込みを使用 33 34
 - 共有回線のリモートで使用中のアイコン 32
- け
- 警告、安全上の 3
 - 言語の設定、変更 37, 52
- こ
- コール
- 応答 20
 - 会議 25 27
 - 回線あたりの最大数 13
 - 回線との比較 13
 - 共有回線 32 34
 - 終了 20
 - 転送、Web から設定 24, 52 53
 - 転送 23
 - 転送、会議ステーションから設定 24
 - とコール転送 24, 52 53
 - ～のアイコン 13
 - パーク 31
 - パーク、保持および取得 31
 - 発信 17 19
 - ピックアップ 30
 - 複数、処理および表示 22
 - 複数の相手先 25
 - 不審な 34
 - ボイス メッセージ システムへの送信 20
 - 保留中、応答 20
 - 保留と復帰 21
 - 保留の解除 21
 - ミュート 21
 - 問題のレポート 61
 - 呼び出し中のリダイレクト 20, 30
 - 履歴 17, 38
 - 割り込み 32
 - 割り込みを禁止する 34
 - コール処理 17 27, 28 35
 - コールの切り替え 22
 - コールの終了、オプション 20
 - コールの転送 23, 24, 52 53
 - コールの発信、オプション 17, 18
 - コールのリダイレクト 30
 - コールバック 18
 - コールへの応答 20
 - 個人アドレス帳、「PAB」を参照
 - 固定短縮ダイヤル
 - 使用方法 29
 - 設定 49
 - ～について 28
- さ
- サービス 50 51
 - 先にダイヤル 17

し

- 自動応答 35
- 社内ディレクトリ 18, 39 40, 55

す

- ステータス データ、表示 59
- スピーカフォン、使用 17, 20

せ

- 選択ボタン、概要 11

そ

- 即転送 23, 44
- ソフトキー、概要 12, 14

た

- 他 Grp 30
- ダイヤル、オプション 17 19
- 短縮ダイヤル
 - 使用方法 18, 29
 - 設定 49
 - ~について 28

ち

- 着信履歴、表示 38

つ

- 通話履歴の削除 38

て

ディレクトリ

- Web から使用 46 48
- 会議ステーションから使用 39 43
- 社内 18, 39 40, 55
- ~について 39
- パーソナル 39 43
- ボタン 11

電源

- インターフェイス ケーブル
 - ~について 7
 - ~の図 7

外部

- ~について 7
- ~の図 7
- 供給、中断 3

- 電話を切る、オプション 20

と

- 登録、会議ステーション サービス 50
- トラブルシューティング
 - 「QRT」を参照
 - 一般 59 60

な

- ナビゲーション ボタン、概要 11

ね

- ネットワーク ケーブル、接続 5
- ネットワーク設定データ、表示 59

は

- パークされているコール、取得 20, 31
- パーソナル ディレクトリ
 - Web ページから使用 46 48
 - 会議ステーションでの使用方法 41 43
 - ~について 39
- パスワード、変更 51
- 発信者 ID 14
- 発信履歴、表示 38
- 番号のリダイヤル 11, 17

ひ

- ピックアップ 30
- 品質レポート ツール 61

ふ

- ファースト ダイヤル
 - 使用方法 29, 41, 42
 - 設定 47, 49
 - ~について 28, 39, 41
- 複数コール、処理 22
- 不在履歴、表示 38
- 不審なコール、処理 34
- 復帰、使用 21
- プライバシー、および共有回線 32, 34

へ

- ヘッドセット、電話を切る 20

ほ

- ボイスメールの設定、変更 36, 52 53
- ボタン、識別 10 12
- 保留
 - コールの切り替え 22
 - 使用方法 21
 - と転送 23

ま

- マイクロフォン、図 6
- マニュアル、参照先 2

み

- ミーティング会議 25, 27
- ミュート 11, 21

め

- 迷惑呼の識別 34
- メッセージ インジケータ、設定 36, 53
- メッセージ、再生 44
- メニュー、使用 16

も

- モデル情報、表示 61
- モバイル デバイス、図 6

ゆ

ユーザ オプション Web ページ 45 56

よ

呼出音、調整 36

わ

割込み

使用方法 33

と共有回線 32 34

とプライバシ 34

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices.

CCVP, the Cisco logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company.(0705R)

Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.



The Java logo is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先（シスココンタクトセンター）

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00